

## 基礎は塾で学ぶのがベスト！

2024. 4. 11 (木)

### 基礎とは何か

基礎とは、それを使って解かなければならない問題の解法のツールのことです。  
だから、基礎＝基本ではなく、基礎は必ずしも易しいとは限りません。  
ものすごく難しい問題を解くときには、ものすごく難しい基礎が必要になることがあります。

だから、基礎がないと、それを使って解くレベルの高い問題を解くことはできません。

基礎とは、具体的には、どのようなものかについては、次の記事を参照していただくことにしてここでは、基礎はどこで学ぶべきか、についてお話ししましょう。

★基礎の具体例 → [Link | Essay\\_728 |](#)

### 自分で基礎を学ぶ困難さ

一番いいのは、自分で計画を立てて復習することですが、実は、これは至難の業です。

なぜならば…

- 計画を立てたはよいが、学校の授業が進み、課題が出され、テスト勉強しなければならないので、つつい復習は後回しになります。
- また、何を勉強したらいいのかわかりません。  
多くの方は、教科書からやれ、と言いますが、実は、教科書というのは先生の授業を前提として作られているもので、一人で学習するには最も適しない教材なのです。  
では、市販の参考書はどうかというと、これは授業である程度の基礎のできた人を対象として作られているので、解答の説明が非常に簡潔で、はっきりいって読んでもわかりません。  
最近では、インターネット上で無料の授業がありますが、自分が復習したい授業を探すのは非常に手間がかかりますし、1度授業を見てからでないとう内容がわかりません。復習とは関係ない映像を見せられて、無駄な時間をつぶすことになります。
- 教材の問題でいえば、学習する範囲とレベルの設定があります。  
どの範囲のどのレベルの問題まで解けるようになればいいかを判断するのが個人では難しいということです。特に、苦手分野については皆目見当もつかないはずで。
- さらに、一人で学習するときに陥りやすい問題として、  
解けなかった問題は、解答を見て理解できれば「わかった」という思い込んでしまうということです。

かなりの人がこの「わかったつもり症候群」に陥ります。

ちなみに、1週間後にもう一度その問題を解いてみて下さい。解けないことに愕然とします。

そういうものなので、それほど心配する必要はありません。

勉強のしかたを変えれば済むことです。

また、一人で学習していると、アウトプット学習が十分にはできません。あるタイプの問題を解けるように練習したいけれども、そのタイプの問題を集めることが難しいからです。

だから、多少は参考書などで学習できたとしても、応用する力はほとんど身につけません。

等々、等々、一人で復習する困難さは理解できたでしょうか。

「そうそう、そうなのよ！」という声があちこちから聞こえてきそうです。(\*^\_^\*)\

さて、どうしますか？

復習にまつわるこれらの諸問題を一気に解決する”手”はないのでしょうか。

## 基礎は塾で学ぶのがベスト！

なぜならば、

(1) 塾で学習すれば、復習する時間を定期的かつ確実に確保することができるからです。

週に3時間や4時間は確実に復習にあてることができます。

(2) 塾ならば、学習すべき範囲とレベルを設定してくれます。

また、それをもとに、学習すべき教材も提供してくれます。

参考書とか問題集の選定や、解くべき問題の選定に悩む必要はありません。

ただ、その教材を前から順に消化していくと、自動的にあるレベルの学力が身につけていることになります。

(3) また、チェックテストなどしてくれるので、「わかったつもり症候群」に陥ることがなくなります。学習の時間に比例して確実に学力を伸ばしていくことができます。

## 数専ゼミの復習指導

数専ゼミの場合は…

例えば、「因数分解ができないのですが」とか、「二項定理がわからないのですが」とか、「数列がまったくわかりません」などと言っただけで、その人のための個別の復習計画を立て、教材を準備し、指導を開始します。

学校の授業が進み、テストがあり、自分で学習していく過程で、どんどんわからない部分がでてきます。そのつど、先生に言っただけで、その部分の復習を積み上げていきます。

解けなかった問題は、次回に再テストをして、確実に解けるようにしつつ、学習を前へ進めていきます。

数専ゼミでは、無料で体験学習ができます。

数専ゼミの学習法とはどんなものか、一度体験してみてください。

この勉強法が自分に合っていると思ったら、数専ゼミで勉強を続けて下さい。